



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

機関誌「老健」の取材を受けました

本物の在宅支援と評価

7月10日、全国老人保健施設協会の機関誌「老健」の巻頭カラー連載の取材をうけました。

取材班が、「倉敷といえば美観地区」と思い、カメラに収めてきました」と前置きすると、服部施設長が「倉敷と水島は文化が全く異なりますよ」と一言。水島は、コンビナートと蓮根やごぼう畑などの農業との共存の地域を現すカメラアングルをお伝えしま



取材を受けた老健あかねの職員（右のお二人が順に歯科衛生士の柳根主任、牟田口部長）

した。

取材チーフから、「取材地に行ったら5分でその施設の意気込みがわかる」という言葉どおり、私たちが語った3つのことに興味をもたれました。

1つめは、倉敷医療生活協同組合の歴史です。

戦時中に水島に強制就労された朝鮮の人たちや、国民皆保険以前の時代で医療にかかれない人たちが、安心してかれる病院を作ろうと、無産者診療所の理念を引き継ぎ、1953年、今の倉敷医療生活協同組合の前身が設立されました。「住民がつくった」歴史に共鳴されました。

2つめは、リハビリテーションの考え方が全職種に浸透していることです。1987年に老健あかね併設のコープリハビリテーション病院（当時、健寿協同病院）が開設、1995年、老健あかねが開

設しました。「キユアからケアへ」を合言葉に、患者から生活者へ、の視点で市内7番目の老健でした。2001年にコープリハビリテーション病院回復期リハビリテーション病棟の開設を機に、リハビリテーションの考え方が変わりました。医師、看護、介護など多職種が同じ目標を指



機関紙「老健」の取材に来られた社会保険研究所の皆様

向する。これは、老健あかねのリハビリテーションの取り組みに大きく影響しています。そして、コープリハ、老健あかねの入所、通所リハ、訪問リハ合わせた「建物まるごとリハビリ」につながります。

3つめは、リハビリの実践とコープリハ歯科が連携していることです。リハビリに口腔衛生と栄養は不可欠です。それぞれの専門職が融合されコラボ歯科と呼んでいます。

職員が当たり前のこととして、リハビリケアをもっと言語化していこう、そう取材で鼓舞されました。（老健あかね

事務次長兼ソーシャルワーカー

田辺紀子）

退院当日一番うれしい瞬間

回復期リハビリ病棟には、急性期の治療を終えたあと、生活能力の改善を目的で入院されます。

骨折後の方、脳卒中発症後で意識回復が途上の方、高次機能障害がある方、状態はさまざまですが、ゴールはどんな方でも「生活」です。

本人が望む生活の場所へもどれるように日々関わり、家族の方には常に状態をお伝えしていただきました。そして退院当日、病棟エレベータホールでのお見送り、病院玄関でお見送りの瞬間が恒例になっています。

本人が元気で手を振って帰られる姿をみると、本当に嬉しく思います。家族の方がからお手紙をいただくこともありますが、そこには職員に対する感謝の言葉が書かれています。

これは最近退院された患者さんの娘さんからいただいたお手紙の一部です。「限られた



回リハ病棟のスタッフによる退院時のおみくり

面会の中、本当に心配の日々でしたがスタッフの皆様方の笑顔と温かいサポートのおかげで心強い支えを感じる事ができました。…これからも皆様のような素晴らしいスタッフによって多くの患者様が治療の過程で力を得ることが出来ることを願っております」

本人の笑顔と家族からのお手紙、本当に嬉しく私達職員

の励みになります。

（コープリハビリテーション病院

回復期リハビリ病棟

病棟師長 山田小百合）

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

看護士介護士リハビリで患者を元気にしよう

福田中学校 キャリア教育事業

この度、倉敷市立福田中学校で職業体験を7月5日に行いました。毎年恒例の講座で、この「企業学び舎」が定着してから3年になるそうです。複数の企業が中学校を訪問し職業紹介や体験をするもので、地元にある職業や企業があるのを知ってほしい機会だと思われました。



玉口介護福祉士(左) 佐藤理学療法士(中央) 水島看護師(右)

私たちが60名ぐらいの生徒を対象に、病院や老健の紹介、看護師による注射器やAEDの操作、介護福祉士による不自由な身体想定での食事介助、理学療法士による体力測定や車いす操作などを体験してもらいました。



胸部圧迫の強さや方向を中学生へ伝える水島看護師

他にも車いす操作は意外と簡単ではないことや、目が不自由な状態で食事介助される側

一人一人に合った介護計画の立案と実践 倉敷中央高校介護実習

5月21日から6月7日までの13日間、倉敷中央高等学校3年生3名が老健あかねに介護実習にいられました。

今回の実習では、一人の利用者様を対象に情報収集から介護計画の立案・実施・評価までを行いました。



作業を通じてコミュニケーションを取る実習生

利用者様とコミュニケーションを図り、観察をする中で利用者様のニーズを汲み取り自分なりの介護計画を立案することができました。自分が立案した計画を実施したときの利用者様の反応を見て、「やってみると良かった」という声を聞けました。

また、介護技術の実践では、実際に利用者様に対して行うということ、緊張や戸惑いが見られましたが、時間が経つにつれて利用者様との距離感も近くなり少しずつ出来る

の気持ちを想像することができました。

今回、私自身初めての参加でしたが、子どもたちにとっても貴重な体験だと思っただので、次回はもっとより病

ようになっています。実際に利用者様から学ぶことができない注意点や対応の仕方などに学生も気付いていた様子でした。今回の実習での経験を活かし、立派な介護福祉士になって欲しいと思います。

(老健あかね)

介護福祉士 塚本 光

院の仕事を知ってもらえるような内容にしたいと思いまし

た。

(コープリハビリテーション病院 回復期リハビリ病棟

看護師 水島智重)

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



お問い合わせ先 倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院 老人保健施設 老健あかね TEL 086-444-3212(代表) 受付時間 平日 9:00~16:30 土曜日 9:00~12:00 (日祝・年末年始を除く)

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60 ホームページ: http://coopreha.jp/ メールアドレス: info@coopreha.jp 広報委員会 発行責任者 笹館 勝人

診療表 table with columns for hospital name, time, and services like 外来, 器具外来, 歯科, 短時間通所リハビリ, 短期集中健幸アップ教室, 訪問リハビリ, 通所リハビリ.

医療福祉相談・連携室 table with columns for consultation time and days: 平日 9:00~12:00 13:30~16:30, 土曜日 9:00~12:00, 日・祝日 休み.

新入職員紹介 section featuring four circular portraits of staff members with their names and roles: 赤木弘美 (ナースエイド), 谷田瞳 (看護師), 服部恵 (ナースエイド), 金光幸子 (ナースエイド).